

2025 年度

事 業 計 画 書

収 支 予 算 書

2025 年 3 月

公益財団法人水産無脊椎動物研究所

2025 年度 事業計画書

基本方針

当財団の事業は、水産無脊椎動物の研究者を「助ける」事業、研究情報を収集して活用をはかる「集める」事業、水産無脊椎動物の情報を「広める」普及啓発事業で成り立っている引き続き、これらの3事業を通じて、水産無脊椎動物に関する研究の進展、及び水産資源の開発や利用推進に寄与できるよう、より発展的な活動をしていきたい。

1. 「助ける」研究助成事業

助成事業は1988年から始めて37年目を迎える。近年は遺伝子研究など、より実利的な課題や研究テーマに偏る傾向にあるが、当財団としては水産無脊椎動物分野における地道な基礎的研究への応援を中心に、助成事業を推進していくこととしている。

2025年度の課題募集については、個別研究は昨年から9件増加し67課題、育成研究は7件減少し27課題（合計94課題）の応募があった。過去最多であり、昨年度からも2件増加した。専門委員の審査により、このうち個別研究10課題、育成研究3課題を選出した。

2026年度も、応募フォームを活用した申請書等の提出方法など、応募者や採択者の負担軽減を図り、より利用しやすい環境づくりを目指す。

広報活動について、引き続きメーリングリストや学会での広報を行うとともに、財団Webサイト、TwitterやFacebookでの発信、学会等での声かけなど、当該分野の人脈ネットワークとの交流に努めながら認知を広め、同時に、当研究助成の意義を明確にしていくことで、更なる応募数の増加と助成事業の拡大を図る。高校生等、現状より若年層からの応募も期待できる応募形式の開発や広報ルートの開拓の取り組みも引き続き進める。

2. 「集める」研究情報・資料の収集、交換図書、学会の聴講

(1) 軟体動物後鰓類（うみうし類）を中心に水棲無脊椎動物の研究情報や画像等を収集する。

新たに発表された論文等の情報収集を継続するとともに、観察会や調査で分布情報や画像を収集する。画像は一部をHPの図鑑にて公開する。

(2) 資料・論文の収集と保管

無脊椎動物に関する図書・図鑑を増やし、発表された論文やその情報を収集・保管し、利用を図る。

関東周辺を中心とした海産無脊椎動物の出現・分布状況を調査し、情報を収集する。特に後鰓類の分布情報を文献および野外調査にて重点的に収集する。2019年度よりミュージアムパーク茨城県自然博物館が実施している総合調査研究の調査員として参加しており、同博物館と共同調査や共催観察会を行う。この調査・研究では茨城県における海産動物の情報を収集しており、

同博物館への標本作成協力や出版物等への執筆を準備する。

(3) 学会の聴講

日本貝類学会、日本動物学会、日本動物分類学会、その他、無脊椎動物に関する学会の大会などに参加予定である。また、関連したシンポジウムや講演があれば参加し、財団のネットワーク拡大にもつなげていく。収集した新しい研究情報のうち、一般の人にも広めるべきと考えられる内容は研究者に「うみうし通信」への掲載を依頼する。

3. 「広める」普及啓発事業

(1) 広報誌「うみうし通信」の発行

「うみうし通信」は当財団の広報誌であり、広く水産無脊椎動物についての情報を掲載する。また、助成課題の研究報告の中で貴重な研究情報があれば掲載する。今年度はNo. 127 から No. 130 の4号を発行する。

(2) 「うみうしくらぶ」会員の維持と発展

会員は「うみうし通信」の定期購読者である。内外のイベントなどで「うみうし通信」の広報活動を行うことにより、新規会員・読者を開拓する。近年、小学生を含む学生の入会も増えているため、若手会員が参加できるようなイベントも企画する。

(3) 子供向け及び大人向け（中学生以上を想定）のイベントを実施する。

①子供を対象とした海の生物観察会

「第15回 親子で楽しむ海の生き物わくわくウォッチング」を従来通り、神奈川県観音崎自然博物館を利用し、5月31日(土)に開催する。

②高校以上を対象とした見学会や勉強会

水族館や博物館などで見学会や勉強会を計画予定である（開催場所は調整中）

(4) 財団 Web サイト (rimi.or.jp) の充実と交流ネットワークの拡大への取り組み

①財団公告メディアとして、財団の情報公開は迅速かつ正確に行う。

また研究助成課題の募集と課題の決定は、ここで公表する。

②水産無脊椎動物の理解を助けるため、引き続き水産無脊椎動物図鑑の拡充を推進する。より特徴の分かる写真を追加し、分類群名の変更など、近年の研究情報も反映させていく。

③「うみうし通信」の過去記事の公開化を進め、より多くの一般の方に、水棲の無脊椎動物について知ってもらおうきっかけづくりを推進する。

④学会やイベントを通して、若手研究者との交流や SNS を活用しながら、地道に財団の存在認知や交流ハブになるよう進めていく。

- ⑤財団メーリングリストの運用をより充実させ、イベント情報や水棲の無脊椎動物に関する情報を配信する。
- ⑥Webサイトのコンテンツ見直しを定期的に行い、フォームによる寄付金の申し込みや助成申請などの充実を図る。

(5) 生物情報の活用

- ①財団でこれまでに収集している画像や、イベントの際に収集できた種の分布情報は、生物多様性情報の重要なデータとなりうる。海洋研究開発機構（JAMSTEC）のデータベース（ORBIS）などへのデータ提供の準備を継続し、生物情報の登録を進め調査・研究に活用いただく。
- ②観察会や調査中に得られた画像データや標本については、外部への資料提供や技術協力などを行い、水棲の無脊椎動物について知ってもらうきっかけ作りを進める。

上記のように、今年度も引き続き、水産無脊椎動物の研究進展に寄与できるよう「助ける」「集める」「広める」事業を着実に推進していきます。

なお、そのためにも、継続的な寄付につながるよう、財団事業および寄付募集サイトの広報をさらに強化し、事業継続性のための財務基盤充実に結びつくよう取り組んでいきます。

以上

2025年度収支予算書

2025年4月1日より2026年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5,288	5,600	△ 313
基本財産受取配当金	23,500,000	18,000,000	5,500,000
受取年会費	500,000	470,000	30,000
イベント収入	36,000	23,800	12,200
受取寄付金	350,000	400,000	△ 50,000
雑収入	6,000	17,000	△ 11,000
経常収益計	24,397,288	18,916,400	5,480,888
(2) 経常費用			
① 事業費	29,609,585	28,757,534	852,051
給料手当	5,220,000	5,220,000	0
臨時雇用賃金	350,000	560,000	△ 210,000
退職給付費用	453,600	453,600	0
厚生費	1,059,985	1,040,000	19,985
会議費	200,000	200,000	0
水道光熱費	90,000	0	90,000
旅費交通費	1,000,000	1,050,000	△ 50,000
通信運搬費	600,000	510,000	90,000
消耗什器備品費	200,000	200,000	0
消耗品費	400,000	400,000	0
印刷製本費	1,080,000	1,200,000	△ 120,000
賃借料	2,706,000	1,721,760	984,240
諸謝金	650,000	420,000	230,000
支払助成金	15,000,000	15,000,000	0
業務委託費	400,000	400,000	0
減価償却費	0	182,174	△ 182,174
雑費	200,000	200,000	0
② 管理費	7,970,178	8,000,954	△ 30,776
役員報酬	4,344,000	4,344,000	0
厚生費	258,476	272,000	△ 13,524
会議費	100,000	100,000	0
旅費交通費	15,000	50,000	△ 35,000
通信運搬費	40,000	35,000	5,000
消耗什器備品費	50,000	50,000	0
消耗品費	60,000	60,000	0
水道光熱費	60,000	100,000	△ 40,000
賃借料	1,531,200	1,500,000	31,200
業務委託費	1,424,583	1,385,700	38,883
租税公課	4,000	2,000	2,000
保険料	12,840	0	12,840
減価償却費	20,079	52,254	△ 32,175
雑費	50,000	50,000	0
経常費用計	37,579,763	36,758,488	821,275
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,182,476	△ 17,842,088	4,659,613
基本財産評価損等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 13,182,476	△ 17,842,088	4,659,613
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 13,182,476	△ 17,842,088	4,659,613
一般正味財産期首残高	577,339,326	595,181,414	△ 17,842,088
一般正味財産期末残高	564,156,851	577,339,326	△ 13,182,476
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金への振替額	0	0	0
指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	564,156,851	577,339,326	△ 13,182,476

収支予算書内訳表

2025年4月1日 から 2026年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計 公1	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5,288	0	5,288
基本財産受取配当金	23,500,000	0	23,500,000
受取年会費	500,000	0	500,000
イベント収入	36,000	0	36,000
受取寄付金	350,000	0	350,000
雑収入	6,000	0	6,000
経常収益計	24,397,288	0	24,397,288
(2) 経常費用 事業費			
給料手当	5,220,000		5,220,000
臨時雇賃金	350,000		350,000
退職給付費用	453,600		453,600
厚生費	1,059,985		1,059,985
会議費	200,000		200,000
水道光熱費	90,000		90,000
旅費交通費	1,000,000		1,000,000
通信運搬費	600,000		600,000
消耗什器備品費	200,000		200,000
消耗品費	400,000		400,000
印刷製本費	1,080,000		1,080,000
賃借料	2,706,000		2,706,000
諸謝金	650,000		650,000
支払助成金	15,000,000		15,000,000
業務委託費	400,000		400,000
減価償却費	0		0
雑費	200,000		200,000
経常費用計	29,609,585	7,970,178	37,579,763
管理費			
役員報酬		4,344,000	4,344,000
厚生費		258,476	258,476
会議費		100,000	100,000
旅費交通費		15,000	15,000
通信運搬費		40,000	40,000
消耗什器備品費		50,000	50,000
消耗品費		60,000	60,000
水道光熱費		60,000	60,000
賃借料		1,531,200	1,531,200
業務委託費		1,424,583	1,424,583
租税公課		4,000	4,000
保険料		12,840	12,840
減価償却費		20,079	20,079
雑費		50,000	50,000
経常費用計	29,609,585	7,970,178	37,579,763
基本財産受贈益			
基本財産評価損益			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,212,298	△ 7,970,178	△ 13,182,476
当期経常増減額	△ 5,212,298	△ 7,970,178	△ 13,182,476
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,212,298	△ 7,970,178	△ 13,182,476
一般正味財産期首残高	204,433,438	372,905,888	577,339,326
一般正味財産期末残高	199,221,141	364,935,710	564,156,851
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金への振替額	0	0	0
指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高			
	199,221,141	364,935,710	564,156,851